

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 若久福祉の里

## 目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 6 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	管理者を中心にチームワークの取れた介護の実践に取り組んでいるが、これからのグループホームとして、運営が安定して行なわれるための、若手の職員の介護技術の向上と、意識の高揚を目指していく。	その時代に合わせたグループホームを目指し、他事業所の管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員の意識改革と介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回消防署の協力と指導を得て、避難訓練を実施しているが、地震などの非常時に地域の方と協力して避難が出来る体制の確立と、2階の9名の利用者が安全に避難場所に避難出来る体制を日常的に職員間で話し合い、冷静に対応できる体制を整えていく。	夜間想定避難訓練を定期的実施し、夜勤者が自信をもって利用者9名を安全に避難誘導できる体制を整え、非常災害に備えて利用者が食べられる非常食を用意し、利用者の医療や薬の情報、緊急連絡先のファイルを何時でも持ち出せる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。